

事例 13

雄物川が繋ぐ親子港探訪

DATA
 場所：秋田県秋田市(秋田港)
 実施者：秋田港湾工事事務所 企画調整課 [TEL(018)847-2513]
 参加者：大森町立大森小学校4年生親子 32名、
 雄物川町立大沢小学校5～6年生親子 42名
 実施日：平成12年7月28日、8月8日
 学習時間：1日

関係する分野
 環境 交通 社会 地域 歴史 福祉 健康

背景

秋田県内陸雄物川沿いに住んでる親子を招いて、往時、舟運を通じて物資運送に重要な役割を果たした「雄物川」を遡り、河川運輸の歴史を通じて関係の深かった地域と現在の秋田港を繋ぎ、港を探訪してその役割や重要性を理解してもらうために企画されました。

内容

監督測量船「あきかぜ」で港内探訪をしました。途中、防波堤の上に降りて歩いてみたり、防波堤にさまざまな工夫が施されていることなどを学びました。また、陸上からは、コンテナターミナル、マリーナ、セリオン等の港湾施設を見学し、展望台からは秋田市内や港を観察しました。



国際多目的ターミナル見学



湊御蔵資料館見学



秋田マリーナ見学



防波堤上見学



熱心に説明を聞いています

ポイント

- 港づくりが実施されるまでの過程、着工してから完成するまでの流れ、完成後の管理にいたるまで、港づくり事業のしくみを学びます。
- 港の成り立ちについての歴史的背景にもふれ、地域に深く根付いていた河川運輸について改めて勉強します。
- 港の持つ多面的な役割について、さまざまな角度から考えてみます。

成果

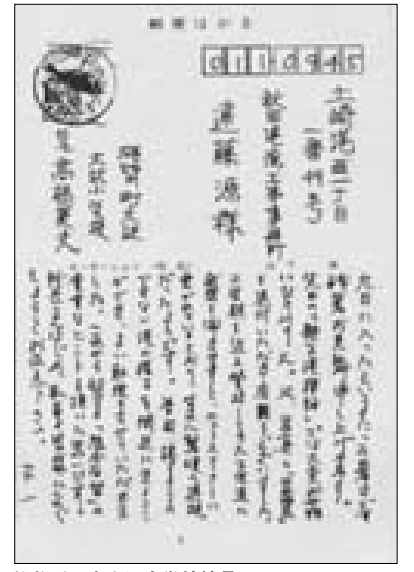
港を海から見たりと、いろいろな体験を元を実施され、子供たちにとって大変貴重な経験になったようです。

参加者の声

「あきかぜに乗ったのははじめてでした。すこしよったけど、楽しかったです。ぼうはていにもいってくれました。ありがとうございました。」
 (大森小学校 4年生)

「バスでセリオンまで行って100mのたかさから海をみたらすごかったです。昼の弁当もおしかったです。そして、最後に見せてくれた鳴る砂がふしぎでした。」
 (大森小学校 4年生)

「セリオンにも初めて入りました。展望から見た秋田市内や、港はいいながめでした。改めて海や雄物川の大きさと広さを感じました。今回、この港探訪に親子で参加できて本当によかったです。」
 (雄物川町立大沢小学校 5.6年生代表)



雄物川町立大沢小学校校長 高橋英夫さんからの手紙



大森小学校4年福井紗弓さんの感想文



大森小学校4年伊藤望さんの感想文

次のステップに向けて

- 今回の港の体験をもとに、港と生活の関わりについても学習しながら、港の歴史や海外との関係など視野を広げることもできます。